

# 令和4年度 事業計画

## 1. 基本方針

我が国の令和4年度の国家予算が107兆円を超え過去最大となり、新型コロナウイルス感染症対策予算も今後の対策を含め5兆円の予備費が組み込まれております。

昨年も新型コロナに始まり新型コロナ・オミクロンで終わった年でした。残念ながら当初計画していた各種事業が感染防止のため中止または縮小を余儀なくされ、また新規会員加入の減少とともに現会員の退会が続き、まさに苦しい年の2年目でありました。

本年度の高年齢者労働行政においては、70歳までの就業機会確保等に向けた環境整備や高年齢労働者の処遇改善を行う企業への支援を中心に位置付けし、次にシルバー人材センターなどの地域における多様な就業機会の確保を掲げております。このことは、シルバー人材センターの命題であります新規会員拡大に、一層ブレーキがかかることが予想され、それを打開するための対応が今私たちに求められてきております。

また、シルバー人材センターの新規事業として、介護施設に対して介護の周辺業務の切り出しの提案を行い、高齢者の新たな就業機会の場を創出することが求められており、合わせて女性会員の拡大を目指すこととしております。新型コロナの関係で介護施設への対応が厳しい現状ではありますが、環境が変化した時点では、アプローチする価値はあると考えます。

さて、令和5年10月から消費税に関し「インボイス（適格請求書等保存方式）制度」が導入されます。税法上会員の皆さまは現在個人事業主であり、課税売上高1,000万円未満の非課税事業主です。非課税事業主は、インボイスの発行が認められなく、課税事業者であるシルバー人材センターでは仕入税額控除ができず、結果として配分金に見合う消費税を全額センターが負担することになります。

経過措置はありながらも、その額は年約1,800万円と想定され、収支相償（黒字決算は認められていなく、プラマイゼロ又はマイナス決算）の会計を求められているセンターにとっては、支払う財源は一切なく死活問題であります。

このまま推移すれば、我がセンターの存廃にも結びつく課題であり、今年度会員の皆さまと十分な協議をさせていただき、その対策に取り組んでいきたいと存じますのでご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

昨年度契約項目以外の行為を行っての事故が多発しました。当然保険対象とはならない処理をせざるを得ない状況でした。軽傷での人身・物損事故で済んだのが幸いです。取り返しがつかなくなる前に、「安全を第一に、契約項目以外の就労は絶対にしてない」ことを会員相互に確認し合い、この一年間邁進しようではありませんか。

以下、次の実施計画を推進いたします。

## 2. 実施計画

### (1) 事業の普及啓発

- ① 新聞折込み広告を利用した「シルバー情報」を各戸に配布し、新会員の入会促進と就業拡大に繋がります。
- ② 会報「シルバー旭川」を発行し、会員や各関係機関、団体に配布し、組織及び事業活動についての情報提供に努めます。
- ③ ポスター等を作成し、公的施設や商業施設等に配布、会員拡大と普及啓発に努めます。
- ④ 市民広報誌「あさひばし」や「労政だより」等への掲載依頼やホームページの充実を図り更なる情報の公開に努めます。
- ⑤ 報道機関への情報提供を通してシルバー事業の普及啓発に努めます。
- ⑥ 会員拡大に向け、実情に応じた入会・就業説明会を実施します。

### (2) 会員組織の確立

- ① 「よい仕事・よい関係・よい人生」を合言葉に、会員が一丸となり会員拡大に取り組めます。
- ② 会員の「知人・友人」の紹介等口コミによる新会員の入会を促進します。
- ③ 地区ごとのボランティア活動を通して組織の活性化を図り、会員相互の連帯感を培い、事務局との意思疎通を図ります。
- ④ 「かたくりの会(女性の会)」を中心とした女性会員の意見交換会を催します。
- ⑤ 就業状況を把握し、未就業会員への声掛けを常に意識するよう努めます。

### (3) 就業機会の拡充

- ① 「自ら開拓、自ら就業」を合言葉に、役員・会員・職員による創意工夫を通して、普及啓発と就業機会の拡大に努めます。
- ② 就業報告書の変更に伴い、請負契約の完成時に発注者・会員・センターの内容確認を実施します。
- ③ 派遣事業においては「同一労働、同一賃金」による契約を更に推し進め、会員の希望職種の聞き取りと就業開拓に努めます。
- ④ 独自事業の充実を図り、宣伝活動に努めます。
- ⑤ 賛助会員をはじめ企業の訪問を行い、シルバー事業のPRと就業拡大に努めます。

### (4) 安全就業の推進

- ① 「安全はすべてに優先する」「健康第一」を合言葉に、安全就業に努めます。
- ② 安全委員会の機能を高め、「事故措置審議会」を通して各種事故の分析や点検を行い、事故の危険予知と撲滅に努力します。
- ③ 草刈、剪定就業をする全会員にヘルメットの配布を行い、安全就業に努めます。
- ④ 研修会・講習会を通して、会員の安全意識の高揚を図ります。
- ⑤ 安全講習や安全パトロールの充実を図り、徹底した事故防止に努めます。

(5) 財政の基盤強化

- ① 事務局内の情報の共有や交換、職員相互の連携強化に努め、研修等を通じて事務局員の資質向上を図ります。
- ② 事務局組織の充実と活性化を図り、公益性と収益性のバランスのとれた運営を行います。
- ③ シルバー事業を取り巻く環境が一段と厳しさを増す状況にあることから、尚一層の事業運営への努力と事務的経費の節減を図ります。
- ④ 令和5年度から導入する「インボイス制度」に向けて、会員への周知に努めます。
- ⑤ 受注の管理を徹底し、早期回収と未収金の防止に努めます。
- ⑥ 関係機関に対し、就業の提供、財政的支援の要請・確保に努めます。